

精神科看護師の365日

平成25年度から取り組んでいる日精看のテーマ「365」にちなみ、全国のさまざまな施設で働く精神科看護師の日常を紹介します。

file.15

訪問ナースの1日

株式会社ラポート 訪問看護ステーションみづま(福岡県久留米市) 代表 村尾眞治さん(42歳・精神科看護歴22年)の場合

精神科看護師になったきっかけ

医療業界に入った動機は、単純に「病院は潰れることも滅多にないから安定しているだろう」というくらいのものでした。

それも医療事務で入ろうとしたら、看護師をすすめられ、たまたま入職した職場が精神科単科の病院でした。そこで統合失調症の患者さんたちとかかわりながら、「なんてところがやさしい人たちなんだろう」と気づきがあり、魅力に引き込まれていきました。

その後、病棟勤務をしていたところに、家族支援の重要性を実感するできごとがあり、訪問看護室への異動を希望し、以来15年ほど訪問看護に携わっています。



現在の仕事内容

2014年10月に訪問看護ステーションを立ち上げました。代表という立場ですが、現場に立つ看護師として月100件ほど訪問しています。6名のスタッフとともに、「選ばれるステーション」になるために日々奔走しています。

やりがいや励みになること

院内での訪問看護を経て、独立型の訪問看護ステーションを開いたのは、より地域に密着した形で「医療と福祉のかけ橋になりたい」と強く感じたためです。開所以来、利用者のご家族の気持ちに寄り添いながら、自己決定を促す手伝いをしていきたいという思いがあります。「ここを選んでよかった」と言っていたとき、とてもうれしく感じます。

今後の目標

精神障がい者が地域でより充実した生活ができる環境の実現にもっと貢献していきたいと考えています。特に、働く場は不足しているので、当事者の方たちと連携を強化しながら、ピアサポートのシステムをつくっていききたいと思います。

村尾さんの

ある日のスケジュール

- 8:00 出勤、ステーションの清掃
- 8:30 全員でのミーティング
- 9:00 訪問(1日5件ほど。1件あたり1時間程度うかがう。利用者と振り返りや夢や希望を語りあうことを重視しながらコミュニケーション。記録は訪問時に聞きとりながら行う)
- 17:00 ステーションに戻って、報告、情報共有のミーティング
- 17:30 法務担当との打ち合わせ
- 19:00 退勤